

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 15

神の霊に導かれて、実際に、実行上において神の子たちとなる

聖書：ローマ1:3-4. 8:2, 4, 6, 9-11, 13-15, 29. 12:2, 4-5. IIコリント2:10. 3:18

- I. ローマ人への手紙における深くて神聖な思想とは、神が人と成ったのは、神の全体的な救いにおいて罪人が贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化されて、神の子たち（彼らは命と性質において神と同じです）となり、キリストのからだの肢体となって、彼を団体的に表現するという事です——8:3. 1:3-4. 3:24. 5:10. 8:14, 29-30. 12:4-5。
- II. ローマ人への手紙によれば、神の福音とは、キリストのからだの実際のための子たる身分の福音です——1:3-4. 8:14. 12:4-5：
- A. ローマ人への手紙が説明しているのは、四福音書に啓示されている個人のキリストが、いかに使徒行伝で啓示されている団体のキリスト、すなわち、彼ご自身とすべての信者で構成されている共同体となり得たのかということ——使徒9:4。
- B. ローマ人への手紙でパウロがわたしたちに示しているのは、神の新約エコノミーとは、罪人たちを、キリストのからだを構成し、キリストを表現する神の子たち、またキリストの肢体とならせること——12:4-5。
- C. ローマ人への手紙の福音は、今や彼の信者たちの主観的な救い主として彼らに内住している方の福音です。ローマ人への手紙の主題である神の福音は、主が復活した後、信者たちの内側におられるキリストに関するものです——1:1, 9. 8:9-11。
- D. 神の救いの目的は、神の長子であるキリストを複製して、無数の信者たち、神の多くの子たちとすることであり、それは彼らが分離した完全に個人の単位ではなく、生きており、機能する、組み合わされた共同体である、彼のからだの肢体となるためです——12:4-5。
- III. 神の心の願いは、多くの子たちを得て、彼を永遠に団体的に表現すること——エペソ1:5, 9, 11. 3:11. ローマ8:29. IIテモテ1:9：
- A. 過去の永遠において、神はみこころの大いなる喜び（彼の心の願い）にしたがって、わたしたちを子たち身分へとあらかじめ定めました——エペソ1:5, 9. ペリピ2:13：
1. 子たる身分は、子の命と地位を持っていることを暗示しています——ローマ8:16-17。
 2. 神の子であるためには、特定の形や様に、すなわち、神の長子のかたちに同形化される必要があります——29節. コロサイ1:15。
- B. わたしたちがキリストを信じたとき、神聖な要素を伴う神聖な命（実際には、三一の神の神聖な存在）がわたしたちの中へと入ったので、わたしたちは神から生まれて、神の子たちとなりました。わたしたちはみなキリスト・イエスを信じる信仰を通して神の子たちです——ヨハネ3:6, 15. ガラテヤ3:27。

- C. 聖書によれば、子たる身分の霊的な意義は、子が父の表現であることです——ヘブル1:3。
- D. 神が欲しているのは、ひとり子における個人的な表現ではなく、多くの子たちにおける団体的な表現です——ヨハネ1:18。ヘブル2:10。
- E. 神の子たちとして、わたしたちは子たる身分の霊を受けました——ローマ8:15。ガラテヤ4:6：
 1. 御子の霊がわたしたちの霊に入ったので、そしてわたしたちが霊の中でその霊から生まれたので、わたしたちの霊は子たる身分の霊となりました。この霊はミンダリングされた霊です——ヨハネ3:6。ローマ8:15。
 2. この霊の中の子たる身分には、子の命、地位、生活、享受、長子の権、嗣業、現れが含まれています。そのようなすべてを含む子たる身分が今やわたしたちの霊の中にあります——23節。

IV. もしわたしたちがその霊に導かれるなら、わたしたちは実際に、現実的に神の子たちです——14節：

- A. 厳密に言えば、その霊に導かれることは活動の事柄ではありません。それは、わたしたちの日ごとの生活の事柄です——4節。
- B. その霊に導かれることを持ち出したパウロの意図は、何が神の真の子であるのかをわたしたちに示すことです——14節。
- C. その霊に導かれることは、外側のことではなく内側のことであり、命の霊の法則、その霊、命から成っています——2, 6-13節。
- D. ローマ第8章14節の導きは、単なるその霊の行動ではありません。それは、三一の神ご自身がわたしたちの霊の中で導きとなることです——2-3, 5, 9-11, 14-15節。
- E. わたしたちはその霊の導きを尋ね求める必要はありません。なぜなら、それはすでにわたしたちの内側に存在しており、わたしたちの再生された霊の中に住んでいるからです——ヨハネ3:6。Iコリント6:17。
- F. ローマ第8章14節は、その霊がわたしたちを導くと言わずに、わたしたちがその霊によって導かれると言います。それは、その霊はわたしたちを導く準備ができていますが、わたしたちは主導権を取って、彼に導かれなければならないことを示しています。
- G. もしわたしたちに内住するパーソンである、すべてを含むキリストを顧慮しようとするなら、わたしたちは命を与える霊である彼に自然に導かれるでしょう。これが意味するのは、わたしたちは彼をわたしたちの命、またすべてとして取る必要があり、また、わたしたちはわたしたちの中の旧創造をすべて死に渡さなければならないということです——ガラテヤ2:20。エペソ3:17。コロサイ3:4。ローマ8:10, 13。
- H. わたしたちの日ごとのクリスチャン生活において、霊にしたがって歩くこと、わたしたちの思いを霊に付けること、神の霊をわたしたちの中に住ませ、居住させること、その霊によって体の行ないを死に渡すこと、神の霊に導かれることは、同時に経験されます——4, 6, 9, 13-14節。
- I. もしわたしたちがその霊に導かれて生きるなら、わたしたちは霊にしたがって歩き、わたしたちが神の子たちであることを証明するような方法で振る舞うでしょう——

14-15節。

J. わたしたちは、わたしたちの中に生きているこの方に頼ることによって彼と協力し、
組み合わせられます——Ⅱコリント3:18:

1. 主を拝見することは、彼がわたしたちと共にいるだけでなく、わたしたちの中にもいることを認識することです——コロサイ1:27。
2. わたしたちが何かを言い、何かを行なう前に、わたしたちは内住する霊であるキリストを拝見すべきです——ガラテヤ2:20. エペソ3:17。
3. わたしたちが主を拝見するとき、命の霊の法則は直ちにわたしたちの内で働いて、一種の自動的な力となります——Ⅱコリント3:18. ローマ8:2。
4. パウロは、キリストのパーソンの中で、悔い改めた兄弟を恵み深く取り扱い、赦した時、主を拝見して、その霊に導かれました——Ⅱコリント2:10:
 - a. 文字どおりには、第二コリントの「パーソン」と訳されたギリシャ語は、第4章6節にあるように「御顔」という意味です。
 - b. これは顔の一部分である目の周りのことであり、それは人の考えや感情の指標であって、その人全体を提示することを表徴します——2:10。
 - c. 使徒パウロは最も近く最も親密にキリストと接触することで彼を生きました。すなわち、彼はその人全体の指標である、彼の目の指標にしたがって生き、また行動しました——ピリピ1:21前半. Ⅱコリント2:10。
5. 「目を転じてイエスを見ましょう！ 彼の栄光の御顔を見つめて仰ぎ見ましょう！すべての物事は彼の栄光の光の中で、次第に色あせてぼやけてしまいます」——詩歌475番全訳（復）。

© 2022 Living Stream Ministry